

## 全社「防火の日」の取組みについて

### 1. 活動の背景

1970年代 8月18日、弊社 工場敷地内の部品部の倉庫で火災が発生。  
人的被害は免れたものの、広範囲を焼損した。  
この火災を教訓とすべく、毎月18日を「防火の日」と命名し、  
敷地内全部門での防火活動を行う。

### 2. 活動内容

- (1) 正門から見える位置に「防火の日」の垂れ幕に掲揚よる警鐘活動。
- (2) 月度毎に「重点点検」活動を決め、各部署にて点検実施。

例)1～3月の活動内容

月	直接部門	間接部門	補足
1月	暖房器具使用状況点検 被覆の破れ, 埃, コンセント部	←	(赤外線ストーブ、灯油ストーブ) 漏電、ショート、トラッキング 使用環境を点検
2月	危険物の管理状況点検 指定数量, 転倒漏洩対策, 静電気対策	可燃物の管理状況点検 数量, 置き方	法令に基づく保管量、環境 換気、帯電、転倒、漏洩
3月	春の火災予防運動		全社統一活動 (詳細は別途ブロック長へ展開)

(3) 不適合箇所の改善と復元

- 春秋火災予防運動期間は、不適合が発見された場合は防火防災管理者へ報告書を提出。(下図)
- 他の月は、各部署より不具合発見件数及び対策実施件数を報告

図. 不適合改善報告書

(防火防災管理者へ電子メールで提出)  
火災予防運動

不適合改善報告書

防火防災管理者

ブロックN.O. \_\_\_\_\_  
職場名 \_\_\_\_\_

<集約表・不適合改善報告書>

不適合項目	対策内容	成果・問題点等
1 各工程(可燃物・不要物)2Sができていない	工程内の2S実施やリス・段ボールなど可燃物の撤去	定期的にパトロールを実施し可燃物等工程にあれば都度指導を実施。2Sに対し意識付けを図っていく
2 外製部品ポリボックス内可燃物(中敷きに新聞紙)あり	物流担当者からサプライヤーにフィットバックの	部品納入時点検を行い不備あれば都度フィットバックを実施していく。

<実施後の成果・課題>

- 職場内の2Sの維持管理活動を継続が必要。
- 外製部品のポリボックス内可燃物の定期的点検が必要。(サプライヤーとの火災リスクへの調整)

<防火防災管理者考察>

この報告書は、各部署の防火防災管理者が、現場で発見した不適合箇所を、防火防災管理者へ報告し、対策を実施している。また、防火防災管理者が、現場で発見した不適合箇所を、各部署の防火防災管理者へ報告し、対策を実施している。

※保存期間：3年間

左から

- 不適合項目
- 対策内容
- 成果・問題点等

• 実施部署 成果・課題記述

• 防火防災管理者考察

- (4) 上記(1)～(3)による対策状況及び進捗状況を防火防災管理者が確認し、Check→Action→Plan→Doサイクルを廻す。